京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所　京城新報社

清津港と間島

[illegible]の主要市場たる局子街方面の通商[illegible]濟森は從來の關係上[illegible]間將消費の多くは主[illegible]入を爲し或は本支店の[illegible]通商の便ある濟南にし[illegible]關係密接なる他通港は[illegible]實を有すれ淸津港より[illegible]に至れり是れ覺悟するに[illegible]なる原因なるが如し[illegible]輸入地として輸入上最[illegible]第一通貨の異殊な[illegible]貨物に乏しき第三[illegible]を異にせる第四相互事[illegible]は實に諸種の故障は[illegible]濟津は固より他吉林[illegible]する事は大なる鶴倍と[illegible]に換ずるべからず却說[illegible]の準備なき迄もなく[illegible]之に亞くは交通機[illegible]上二關開通の上は通貨[illegible]通されると共に相互取[illegible]なら從ふて商取引慣習[illegible]慣の餘裕を生ずるに至[illegible]鐵路すれば從來百里の長[illegible]局子に比すれば淸津は[illegible]短距となり加之途中に[illegible]險を免れ更に他島港に[illegible]路なれば淸津が間島の[illegible]の事今後益々自由港たる[illegible]に對し極て優利なる地[illegible]シエット灣迄を除き[illegible]蘇杭州よりせる綿織[illegible]淸港を凌駕し[illegible]以て吉林とも競爭[illegible]らんといふ

南韓の好現象

久能農工支配人談

[illegible]月中南韓各地方を視察し歸來せる久能農工銀行支配人の談を聽くに客年中の農作は相當の豐穰を示めしたるも米價が如く低下せる爲め所謂豐年の[illegible]く農民一般の經濟は何等[illegible]りし然れども唯だ茲に[illegible]して顯著なる注意を惹けるものあり[illegible]農民の餘業として[illegible]要求せ[illegible]勞働者が從來は日々勞銀として[illegible]るに[illegible]を經過するも仕事を求め又仕拂に對して每に釣錢を携へ居れる事是なり此現象は農事の不況を勞働によりて償ひ得たる餘裕の一證と目するを得べく其結果は同行支店に於ける貯金の著しく增加ともなり又納稅の好成績を示めすに至れり蓋し近來各地に起工せる水利事業或は道路工事の如きは困憊せる農民に好箇の職業を授け遊衣徒食の惰民をも驅りて生計上不得已勞働せしむるに至りたるものなるべし左れば南韓各地方は不況の裡にも多少の活氣あるを認め得たり云々

日露聯絡と西鐵

△貨物の聯絡實施は七月

日露聯絡運輸の協定に基き愈々一日より東淸鐵道及び滿鐵其他の聯絡の實施を見るに至りたるも露國遞信省所管の西伯利鐵道は目下同國政府に於て貨物運賃の改正をなし居り來る七月までには全部改正賃率を實施する方針なるにより內地及び露都間の貨物輸送連絡は七月の交に入らば愈々實施せらるべしといふ

京龍合併問題其後

京龍合併問題は非常の速度を以て進行し居りしが其後新年度豫算討議の爲めに協議を遂ぐる能はず殆んど立消の姿となれり然れども裏面の潮流は頗る順調に在りて益々好望の機に到達し居れば近々兩者の間に繼續的交涉を再始し公然に問題に上るは五六月頃ならんと

●法令例規編纂手續

今般內部地方局に於ては主管事務に關する法令例規編纂手續を定めたるが今其內容を擧ぐれば法令に關するものは癸文式、官制及官規、地理地籍及土地家屋證明に關する法令、祠社寺に關する法令、國費及地方費に關する法令、一般行政に關する法令參照法令にして例規に關するものは人事及文書に關する法令、地理地籍及土地家屋證明に關する法令、祠社寺に關する法令、國費及地方費に關する法令、行政監督に關する法令、一般行政に關する法令等なり而して之れが編纂上及完成後の手續を定めたるものなり

●警察方面會議效果

過般內部警務局に於て開催したる第二方面會議の結果に依り最近新たに着手せらる事業は專警察上の機密に屬するを以て茲に是れを明記する能はざるも例へば各警察署に於て訴訟、屆出を受理するに當り高等受付を益々嚴勵すること等にして是れが實地の曉は其效果頗る顯著なるものあるべく警務局に於ては目下着々實地に努めつゝありと

●寒山寺の夜半の鐘

淸國蘇州寒山寺は寒山拾得垂跡の靈地にして其名は頂繼の月落烏啼霜滿天の詩で共に世間に喧傳せるが同寺の生命ともいふべき所謂夜半鐘なる有名の古鐘は明治の初年本邦に渡來して行方不明となりしより鄕人にして同寺の住職なる山田寒山和尙は深く之を遺憾とし伊藤博文公に請ふて本邦權家總代となり公の名を以て普く全國を搜索せし結果右の古鐘は越前福井の某處に於て全く鑄潰したる證跡を得たれば公と和尙とは天下の珍寶を失ひたるを惜み遂に相議して梵鐘再鑄の事を決し寒山和尙專ら力を之に盡しつゝある內昨年九月伊藤公陰謀の兇變ありて和尙の落膽一方ならざりしが今回朝野有力なる後援者出でたるを以て今年九月公の一週忌を機とし誓つて此大事業を完成し一は公の遺命を全うして其精靈を供養するの大願を立て梵鐘二箇を鑄造する事となりしと

●三月中京城の氣象

(京城測候所調査)

項目	本年	昨年	平年
平均氣溫(攝氏)	二、五	六、八	一、九
平均最高氣溫(同)	七、九	七、三	七、七
高極氣溫(同)	一五、〇	一五、三	一八、三
同上起日	十四日	卅一日	二年三月九日
平均最低氣溫(同)	(一)三、六	(一)三、二	(一)三、四
低極氣溫(同)	(一)八、五	(一)八、七	(一)一三、四
同上起日	六日	三日	三年三月一日
蒸發量(粍)	一〇〇、九	一〇二、三	九六、〇
降水量(同)	二三、五	一、七	一一、九
降水日數	六	六	六
晴天日數	二四	二五	二六、七
曇天日數	七	八	九

本月上半期は尙冬季の狀態を持續し高氣壓は滿洲に停滯し時々降雪を見、渤海灣に低氣壓來襲し漸次北韓を東進したる後は頓に緩和なる春陽の季を齎し下半期に入りては最低氣溫と雖氷點下五度以下に降らず氣壓は一般に下降し曇天多く廿六日に至り黃海南部の低氣壓は韓國中部を橫斷し各地に降雨を促し倂に氣溫の上昇を促進せしめたり而して本年の氣溫は昨年及平年に比し高かりしも最高氣溫は殆ど相等しく最低氣溫は昨年に比し稍々高く平年に相當たり晴天日數は昨年より一日平年より二日多く雨天日數は孰れも六日にして增減なく降水量は昨年に比し七割平年に比し七割餘の過多なりき

●新刊紹介

▲少女の友(三卷五號四月一日發行)例に依りて可愛らしい(定價十一錢實業の日本社)

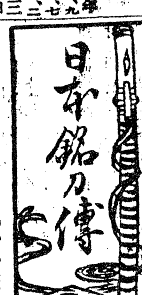
▲婦人界(三卷四號三月二十日發行)例に依つて美しい(定價二十錢金港堂)

▲探險世界(九卷六號四月一日發行)例に依つて面白し(定價十五錢成功雜誌社)

▲東洋時報(百三十八號三月二十日發行)卷頭「東洋拓殖會社の經營に關する過去及將來」と題し宇佐川總裁の論を載せたり此の外鴨綠江採木公司理事長樋口重美氏の鴨綠森林の狀況談勝田理財局長の淸國視察談等を收む(定價五十錢東洋協會)

▲成功(十八卷二號四月一日發行)殊に三宅博士の「努力奮闘主義」は讀んで貰ひ度き向きが甚だ多し(定價十五錢成功雜誌社)

▲新公論(二十五年四號三月二十七日發行)花井博士の「刑法雜話」前田慧雲博士の「人生の樂地」其次が「櫻十題」之れは露伴子、松村理學博士、ゴールドン夫人なんどいふ顏觸れ、政治、經濟、宗敎、敎育何でも來い「の萬報一覽」は所謂趣味と實益を併せ與ふるものか(定價十六錢新公論社)



第八十五席　法城寺正弘(七)

邑井一講演

次郎兵衞は產があつたと大悅び 次「さうか〳〵太儀だつたな、女の子だと、來れは重疊だ、何れだ、此れか、小さいな、まだ產れて三日目か、夫れでは仕方がない斯樣赤兒だが此れが大きくなると彼人と夫婦にして下さい、さもなければ妾は死んで了ひます、など〳〵得手勝手をいふやうになるのだと思ふと、變なものだな人間はアー可笑しい 傍から輕蔑な下女が 下「貴方さう赤兒ばかり愛でないでお產婦さんも見て上げて下さいな 次「アヽさうか、いや產は女の大役だ、御苦勞〳〵、肥立が宜くつて夫れは〳〵……」と次郎兵衞が異身の我子を思ふ程に手の舞ひ足の踏む所も知れざる程に悅びました、其の內に七夜となりまして、名も命けなければなりませんが、名の命け方も三世相の繰方もありませんから、女の名らしいのを幾個も紙へ書いて捻つて拋げる其の內の一個を拾つて開けて見て、夫れに書いてあるのを名とするといふ名策を案出して行つて見ると光といふのが三度とも當りました、此名が緣由つて居るのであらうと、愈々れみつと命けましたが、幸ひ達者に親子とも何の障害もなく一月二月と過ぎ去りました

さて此方は幾三郎の許へ次郎兵衞から來た手紙を開いて見ると、女の子が生れた、氣の毒かれ尙に眼鼻立ちが似て居るとの書信、見たいは山々なれど、世見を憚る一件、然し親子の愛情は別だ、早く顏が見たいのは無理はない、そこで幾三郎は、田町邊へ家を探して引越しの下組をして置くのが何よりだと、自分か永く勤め續いた金が百兩餘もあるから急いで家を探すと、まだ新吉原が引移て間もないことだから大分近所の田地を埋めて家を建てたといふ有樣で、大分あの近所へ町家が出來た所で是れも新開町で東町といふ所に一軒立て、好い向きの家がある、座敷も三間あつて、夫婦に小供下女位に相當



だ、直ぐに手紙を書いて靈巖の次郎兵衞の許へ其の趣をいふてやる、次郎兵衞が見て 次「あゝ無理はない、早く子供の顏が見たからうが、まだれとくさんの方へは微塵も話しがしてないが、產後は大事だといふから默つて居たがもう話しても宜からう、れとくさん、今幸ひ此の部屋に誰れも居ないから話すが、別に斯うといつて六箇敷話でもないが、先づ何も彼もといふ所は江戶へ歸つてからの事だが、ざつと掻いつまむで話をすれば、幾三郎のいふには、何うも此の僮れ前さんと一つ家に一所に居るのは面伏でいけないから自分が別にならうといふのだが、夫れが宜からうと私も極めたのだ、唯之れ困るのは子供を世間へ知らさぬうちに幾さんは引越して了つて、唯時々一年に二三度顏を出して貰ふことにしては何うだい」と何から何まで世話が屆きますから、れとくは唯難有淚に暮れて「ハイ」といふ言葉さへも、咽につかゑて啞となる有樣でございます、さて其のうちに幾三郎も田町へ引移つたといふ音信もあり、れとくも段々と肥立つて來ましたから、愈々江戶へ歸ることになりまして、第一に次郎兵衞が赤兒のれみつを懷中に入れて立歸り田町へ來て幾三郎に渡し、乳飲兒で幾三郎も困るだらうと、れつなといふ次郎兵衞の得意な女を乳母に雇ひ入れまして、之れに赤兒の哺育を托しました、又小僧も一人馴れたのがなければ不可ないといふので、岩槻を五郎兵衞町から田町へ遣り、店に有合はせた代物も一さ通りは送つてやる、幾三郎の方は三日經つて開業といふことになつたが、橋五郎兵衞町の方は何しろ女ばかりだはいへ、久しく賣込んだ家ですから、可なり繁昌して居るので、れとく漸やく氣を取直して長太郎れよねの二人の子を相手に店を張つて居ります、さて幾三郎の家の赤兒の乳母として雇入れたれつなといふ女は、元は澁屋次郎兵衞の乾分の女房でしたが、其の男が或日他人と喧嘩をして人を殺して逐電したのです、夫れでれつなは恰當赤兒を產落した揚句に一人になり、其赤兒も死んだので、乳が大層出るところから、此の家へ乳母に來ることになつたのです

京城新報

滿韓の現狀及將來より韓人自由教育に及ぶ(下)

於東京經濟協會 峯岸本社長述

御承知の通り先頭から日韓合邦論と云ふものが世間に現はれて居る、合邦とは韓國を我聯邦とすることだそうで、之は韓人連の希望だそうだ、尤も少數邦人の中にも所謂合邦なるものに徒動も考へずに賛成して居るものもある、併し私の希望するところはドウセやるなら眞の合併だ、之に付て私は生る四十年の二月故伊藤公其他の人々及び今夕茲に居らるゝ阪谷男爵に話した事がある、兎にも角にも合併は自然の運命である、伊藤公歿後の今日に於て最早邪魔をするものは一人もない、只我政府には相當の打算があることと信じ其斷行の日が來るのを待つのみであるのである。

日韓一體となることは必然の運命である、然らば今日に於て吾人の着手すべきことは討論終結の合併問題にはあらずして合併後の善後策だろうと思ふ、此點に付ては官民共に親切にやらなければならぬと思ふ、世人常に言ふ合併は日韓關係最後の解決なりと成程政治上の形式は是で完全になるのである併し精神は備へても内容が之に伴はなければ合併の實は決して擧らぬのである、彼の西班牙はメキシコや南米に多年君臨したのである、然るに西班牙のメキシコ南米の君臨歴史は一の爭闘史である、自分は日韓關係に於て斯の如き厭ふべき爭闘史を有したくないのである。

韓半島には一千有餘萬の人口がある、此一千有余萬の人間を殺すか活かすかと云ふことが最大問題である、思ふに世間如何なる「ヂンゴー」者流と雖も其道に一千萬の人間を殺すと云ふ馬鹿は居るまい、然らば如何にして活かすかと云ふた、之は教育に頼る外はない、果して然らば韓人に對する今日及び將來に於ける大問題は彼等を如何にして教育すべきかと云ふ事である、此教育にして成功すれば一千萬の韓人を偏に活かし得ることが出來るのである、從來の對韓人教育論を説くものの曰く韓人に學問を教ふるは彼等の爲に却て不幸なりと、其口吻恰かも羅馬教會が其信徒に對する如きものがある、然れども斯る老婆説は今日に於ては何たる價値をも有せぬのである、二十世紀の大勢は世界の何處にも教育の光が及んで居るのである、單り韓人のみ此光を見ることが出來ないと云ふ譯はないのである、教育を受けた結果韓人が偉らくなるかならぬかは別問題である、但し私は二十世紀の今日に於て機會均等の意味を以て韓人に教育を授ける方が良かろうと思ふ、韓人にして教育を受けた結果自然生産的な人間となれば之れ彼等が自らを救ふ能力を發揮したのである、然らずして教育の結果半可通となつて自らを偽ふこともあらば之れ自業自得であるのである、今日は生存競爭の時代である、要は我より韓人に向かつて教育の門戸を開放し彼等をして生存競爭の資格を作らしむることが第一と思ふ、現下韓人が我に對して有する多くの不平の中教育の不自由に對する不平が一番大きいのである、彼等は彼等が教育を受けた結果偉らくなることを日本人が恐れてでも居る様に考へ教育教育と喚ぐのである、公立學校では彼等の滿足を得られぬ爲め宣教師經營の學校などへ行くのである、私見に因れば今日に於て韓人教育の途は備つて居らぬではないか、今後は大々的にやるが得策だと信ずる、一千萬の韓人が世界の大勢の幾部分なりとも知るを得ば彼等は日本の難有きを自然に諒解し、漸々良民になるに進み無のである、斷つて置くが韓人教育の用語は是非共日本語にしたいのである、日本語に非ざれば近世文明の思想を注入することが出來ないからである、之は私見のみにあらず韓人教育に經驗を有する幣原博士やハリス博士の公平なる意見であるのである。

一千有余萬の韓人を活かすと云ふことは彼等を生産的に働く様にすると云ふことである、彼等にして教育を受けた結果生存競爭淘汰の結果自覺して愈々良民となり生活向上の爲に一生懸命働く様にならば半島の面目は必ず一新することになるのである、阪谷博士曾て曰く韓人を富ますには慾望を増進せしむるにありと、私は韓人の慾望を増させる前に先以て教育を授けねばならぬと思ふ。

安奉線は近き三年間に改築の工事が成る韓半島は世界の通路となるのである其時になつて千有餘萬の時代後れにして而かも貧乏なる韓人を半島に陳列し置くことは何と云つても我大帝國の名誉ではないのである、合併宜し、而かも合併後に於ては我 聖天子の赤子となるべき韓人の幸福に就ては吾人は何れの方面からも考へる義務があるのである。

東京電報

▲**德川議長の奉伺** 近々渡歐の途に就くべき德川貴族院議長は本日國府津に赴き同地御別邸に御靜養中なる有栖川宮殿下の御機嫌を奉伺したり(七日)

▲**首相の大廟參拜** 桂首相は名古屋共進會觀覽の上九日同地出發伊勢太廟に參拜し十日午後新橋着歸京の豫定なり(同上)

▲**殖民會議の成立** 政府は各省次官を以て殖民會議を組織し寺内陸相之れが會長たり(同上)

歐洲電報

▲**英皇の巴里訪問** 英國皇帝エドワード陛下には來週巴里に趣かせられ巴爾幹問題及波斯國に關して會議せらるべし(七日)

▲**米獨英佛の交涉** 米獨英佛の四箇國は近々華盛頓にてリベリア共和國に關する交涉を開くべし

▲**輕氣球の大椿事** 獨逸國リツケンチンを發したる輕氣球は暴風雨の爲めシウケン島に吹き附けられ破壞せり其の際四名の便乘者中國會議員にしてベーリングドルフ海水浴株式會社長ドクトルステルベルグ外二名即死せり(同上)

▲**兩國々王の會見** セルヴイア國王ペーテルはブリガリ國王フェルヂナンドを會見したり(同上)

▲**伊太后御來遊延期** 伊太利國皇太后陛下には本邦の風光を御賞讃あらせられ昨年御來遊の筈なりしが御都合に依り本年九月に御延期あらせられたるが最近或る筋に達したる電報に依れば陛下には八十歳の高齡にまします目下御不例に渡らせられミラレ附近に御靜養中なるを以て本年の御來遊は多分御見合せに相成るべしと(同上)

北京電報

▲**利權回收の運動** 昨年來獨逸清國人の共同事業たる花鐙採鑛公司に對する山東紳商連の利權回收運動に基き清獨間數年來の懸案なりし問題は最近に至りて妥協成立し庫平銀三百四十萬圓を以て山東省命權外五名の清國人の手に歸す(七日)

▲**諸政院議員豫選** 諸政院各省議員選舉の結果豫選者三十名發表せられたり内十名は勅選せらるべし年齢は六七十歳の人多く内日本留學生出身者五名あり内二名は當選す

雜報

日韓材木競爭(一)

……關稅局の調査……

鎭南浦港に輸入する日本材木及鴨綠江材に關し同港税關長の報告を聞くに左の如し但し鴨綠江材は新義州方面より移入せるものを含む

種別	隆熙三年	同二年	同元年
日本材	一〇〇、三二八圓	六二、〇五七圓	一三〇、六六一圓
鴨綠江材	一五、〇八九	九、三一〇	三、七四三

右の表に依り隆熙三年及二年中日本材の輸入額を對比するに三年中は前年に比し參萬八千二百七十一圓の増入を示せり之れが品種別は次の如し

品目	隆熙三年	同二年	同元年
木材及板	二二、四三八圓	六二、〇五七圓	一三〇、六六一圓
鐵道枕木	七七、八九〇	…	…

隆熙三年に於ける日本木材の輸入增進は鎭南浦地方の各種工事起工せられ之に伴ふ鐵道枕木の著しく需用増加せるに起因せるものなり然れども輸入材中木材及板類は前年に比し三万九千六百十九圓の減少を示せるのみならず年々減少の傾向にして漸く鐵道枕木多數の輸入に依り前表の如く輸入額の増加を來せるものなり然して鴨綠江材は年々輸入增加の趨勢にして前表掲ぐる處の如く三年中は前年に比し五千七百七十九圓の増加を示せり(未完)

農銀分離問題成行

農工銀行分離問題は客年の財務監督局長會議に上りし以來地方的必要に應じて之を實施せんとの議ありて現に漢湖農工銀行の如きは帳簿を分離して此場合に應ずべく準備整理を爲し居りしが近來内地銀行界の趨勢は彼の各種不動産銀行と雖も到底法定の營業範圍のみにては存立困難なるより事實上普通銀行を兼營するに至り孰れも見て以て己むを得ざる事と認めつゝあり是れ則ち普通營業によりて一般金融界の大勢と併行し隨つて設立の本務を盡すに便なれば該分離問題は時勢の變化と共に寧ろ不必要を認めらるべしと

●**匪害下賜金の配與** 隆熙元年八月より二年に亘る暴徒被害者に對し陛下より救恤金として内帑金十万圓の下賜ありしが内部は之が配與方に就き普く各道觀察使に訓令を發し被害の程度を詳細復命せしめ其結果被殺者千三百八十五人内外國人七十四人及被燒家六千六百八十一戸内外國人八十一戸に對し金九萬三千三十八圓を給與せり然るに其後尚は遺漏なからしむる様調査中なりし結果被殺者八百三十八人被燒家二千四百二十九戸あるを發見したるを以て更に其現存殘額六千九百六十二圓を左の通給與すべく決定し近々夫れ〳〵各地方官へ通達すべしと

京畿道	五百七十八圓
忠清北道	二百七十一圓五十錢
忠清南道	二百五十八圓
全羅北道	七百二十圓五十錢
全羅南道	五百八十一圓五十錢
慶尚北道	八十二圓五十錢
慶尚南道	二十六圓五十錢
黄海道	百五十六圓五十錢
江原道	三千二百七十七圓
平安南道	百五十三圓五十錢
平安北道	百三十六圓五十錢
咸鏡南道	五百六十六圓
咸鏡北道	百五十四圓

尚は隆熙三年以後に係る被害に就ては當時の暴徒と其性質を異にし普通鼠竊の類なるを以て救恤御沙汰なかるべし

●**韓國關係法律公報** 六日午後見玉政府委員より統監府石塚長官に宛たる電報左の如し 本日間島に於ける領事館の裁判に關する法律、明治四十年法律第五十二號中改正法律、四十二年法律第三十六號中改正法律及韓國人に日本法規を適用する場合に關する勅令並に四十年勅令第二百九十二號中改正の件何れも公布せられたり

●**仁川區裁判所新築** 仁川區裁判所及び京城地方裁判所仁川支部は從來仁川府廳の一部を充當して事務を執掌しつゝありしが數日中より同地花町裏手蛇井洞に敷地をトし新築起工せらるゝ計畫にて遲く共十月頃竣工する豫定なりと

●**諸金融機關と會議** 度支部所管の金融機關即ち各農工銀行の支配人會議は來る二十日より金融組合理事會議は二十五日より何れも向ふ一週間の豫定を以て度支部樓上に會議を開く筈なり

●**東拓改正法律公布** 見玉政府委員より七日統監府石塚長官に宛たる電報に據れば東洋拓殖會社法の改正法律を七日公布せられたりと

●**仁川民團の統計** 仁川民團に於ける三月中の諸統計は左の如し 居留屆二二一通(内男一二二女九一)計二一三名、△轉居屆八〇通△退去屆四一通(内男五〇女三二計八二名)△出生屆五七通(男二五女三三計五八)△死亡屆一九通(男一〇女九計十九)

●**會計檢査官増派** 會計檢査官の渡韓は既報の如くなるが古川檢査官の外に中村檢査官の一行三人も渡韓する筈

●**會計檢査の終了** 過日來警視廳に於ては會計檢査を爲しつゝありたるが去る六日を以て全部終了したりと云ふ

▲**勅額下賜** 平安北道義州府州内面に在りし翊原堂は今を距ること三百十九年前宣祖王巡幸の際記念として建設したるものなりしも其後不幸火災に罹り燒失したるが昨年韓皇西韓巡狩に當り同地有力者は之れが記念物の保存を期し内奏して翊原の名を記念として學校を起し翊原學校と名付けたり然るに過般同校總務李弘植は同學校を官立と爲さんとし上京運動中なりし處皇室よりは特別の思召を以て翊原學校の四字の御親筆勅額を下賜せられ李弘植は之れを奉持して數日前京城出發歸途に就きたれば同校職員、生徒及び其の父兄等は目下之れが奉迎準備中なりと云ふ

京城貨物集散(一)

四十二年内韓國貿易總額は五千二百六十九萬圓にして内京城に於ける輸出入は僅かに五百萬圓に過ぎずと雖も是れ單に關税統計の示す處にして從來の習慣上南門稅關の通過寡きに因る然るに現に仁川貿易の六分釜山貿易の幾分は直接京城商人の取扱ひに屬し加之鐵道沿線及漢江等によりて出入する貨物は却々の巨額にして既に南西兩門驛に於ける貨物集散のみにても尚一箇年二千萬圓以上に達し内鐵道貨物は一千七百餘萬圓發送貨物三百萬圓に上る其他漢江及附近地方より牛馬によりて搬入する者を合する時は少くも二千五百萬圓を下らず如此既に貨物の集散に於て韓國内第一位を占むるのみならず人口の多き需要の盛なる又た他に其比を見ず又輸入の多きに比し輸出少きは從來釜山仁川等より輸出するの慣例なりしを以て今尚ほ直接當地より輸出を試むる者寡きによると雖も既に南門稅關鐵道直輸の便を利用する者漸次多きを加ふると共に直接輸出をなす者增加しつゝあるより將來に於ける輸出狀態の盛況は今より想像するに難からず今昨四十二年内に於ける輸出入重要品に就き調査の情況左の如し(未完)

韓國工業の狀況

韓國に於ける工業は高麗時代より二三百年前迄は相當の發達を遂げしてと高麗燒に考ふるも其一般を想像するに足るものあれども今日に於ては非常に衰頽し殆んど見る可きもの無く綿布、麻布、絹布の製織業、製紙業、陶磁業、金屬器業等必要品は大抵之を國内に求め製作するも家内業の域を脱せず極めて幼稚なる粗製見るべきものあらざるなり依て政府は明治三十八年印刷局を龍山に四十年工業傳習所を京城に煉瓦製造所を麻浦に四十二年酒類醸造試驗場を孔德里に設け其の傳習又は模範を示し尚本年より模範巡回敎師を置く等鋭意其の改良發達に努めつゝあれば遠からず大發展を爲す可し今各種工業現在の狀況に就て聞くに▲織物業 織物は到る處製出され殊に綿布は全羅慶尚の兩道に絹布は平安江原慶尚の三道に麻布は咸鏡忠清兩道の最も盛んなり而して其產額は未だ正確なる統計を欠くも蓋し數百萬圓に達す可しと云ふ▲陶磁業 陶磁器は織物と同じく到る處に製出さるゝも粗劣なる日常品に過ぎずして產額多からず▲製紙業 最も盛んなるは慶尚道の慶州及晉州方面全羅道の全州方面等にて總て原料は楮を用ひ其の產額約二万塊(二十枚を一束とし十束を一塊とす)なり▲酒造業 酒の種類は濁酒、燒酎、藥酒、紅酒等にして殆んど各自醸造の有様にて產額詳かならず質は劣等なり▲金屬器業 鐵器中鍋釜及農工具は其主要なるものにて就中釜は最も堅牢と稱せらる眞鍮製品は鐵製品に比し概して其作精巧なり種類は食器、便器、金盥、火鉢等

艦隊入港の歡迎

豫定の如く第二艦隊は今八日午前中仁川に來航の筈なるを以て市中一般國旗を吊し午後六時より八坂樓に官民有志者の催ふしになる艦隊將校大歡迎會を開かるゝ筈なりと

●**海老名氏講演日割** 目下來京中の海老名彈正、渡瀨常吉兩牧師は當分當地に滯在し左記日割に依り連日連夜演說會を開催す參觀隨意 四月八日同九日午後七時半にて▲四月十日午前十時より同日午後七時半より同十一日午後七時半より同十二日午後七時半より日之出町京城基督教會にて同十一日午後二時より日本人商業會議所にて婦人說教

●**ル氏令妹の來京** 既報の如く米國前大統領ルーズベルト氏令妹ロビンソン夫人は其夫ロビンソン氏及令息と共に觀光の爲め過般來北京滯在中の處本月四日同地出發奉天より安奉線鐵道に依り韓國に來り更に本邦に渡航の豫定なるが一行は多分來る九日安東縣出發十日夜入京する筈なりと

●**民團豫算認可申請** 京城居留民團四十三年度の歳出入豫算は既に理事官へ認可を申請したるが之れに添付すべき一切の書類尚は不備なるを以て提出あり次第直ちに審査を行ひ認可せらるゝ筈なりと云ふ

●**軍隊送迎會の準備** 京城居留民團主催となり近々更代すべき第六師團及第二師團の爲めに一大送迎會を開かんと目下準備中なるが其期日は可成幹部の來着を待つて決すべし

●**燈臺巡視船の碇泊** 燈臺巡視船光濟號は六日仁川に歸港し碇泊中なるが來る十三日燈臺材料を積載し迎日灣に向け出港する筈

●**鈴木司稅局長出發** 度支部司稅局長の同氏は平壤鎭南浦及び廣梁灣等視察として七日出發したるが往復は約一週間の豫定なりと云ふ

●**水雷艇隊仁川入港** 六日午後六時水雷艇三十九、四十、四十一、四十三の四隻仁川に入港せり

●**黑田財務官赴任** 晉州財務署より泰川財務署に轉任したる財務官黑田鐵之氏は昨七日赴任の途に就きたりと

●**廣川書記官歸任** 財務視察の爲め平壤方面に出張中なりし度支部書記官廣川利三郎氏は去る五日歸任したりと

●**兵須久氏の出發** 前百三十銀行仁川支店長兵須久氏は今八日一番列車にて

●**鈴木技師の出發** 長崎縣技師鈴木小太郎氏は入京中の處六日釜山へ出發して歸縣歸朝の途に就かるゝ筈なり

●**神代釜平氏出發** 釜山郵便局技師の同氏は入京中の處六日出發仁川に向ふ

●**大島義量氏入京** 臨時測量部附工兵少佐の同氏は六日入京浦尾旅館投宿

▲治外法權▼

海老名、渡瀨の兩牧師は當分京城に滯在し連日各所に長口舌を振ひ大に日韓人を教化するそうである、料理屋より外に遊び處を知らぬ紳士連や、劇場より外に行き處の無き婦人、令孃達に宜敷く强制的參聽を促すべきである▲それより今一つ兩牧師を煩し度いのは先づ地方へ出掛けて日本の小官吏に大に說教して貰ひ度い事である、一々は出來まいから憲兵だけにでも是非願ひ度い一般の居留民よりも此方が遙かに肝要だ、海老名氏の所謂基督魂は斯くて初めて眞價を發揮するであらふ▲最近に地方官の淘汰更迭を行ふた結果内務部長や警察部長に缺員が出來た、而して此缺員は日本から輸入する筈で岡内部次官は久しく東上詮衡中の筈である、處が日本の某新聞にて岡次官は韓國の地方官を日本の地方事務官から採用する積りで色々交渉を重ねたが遂に一人の應ずるものがないとある▲折角淘汰を行つても永々しく空椅子で置いては何んの役にも立たぬ、其上日本からは一人も來る者がないとは心細い、結極は朝鮮在官者から撰抜と來るであらふ▲京城には無職者が隨分と多い一人の人を雇はんが爲め一寸廣告すると其日の中に十幾人も志願者が出て來る、それが何れも相當教育を受けて居る者のみである、彼等の處分も何んとか爲ければなるまい

海印寺の大藏經

▽六石氏の新發見に非ず
▽世界に稀有の一國寶也

慶尚北道の古刹海印寺庫裡に一切經の原版十五万枚を納めありしを發見し其散佚を防ぐため警官憲名同寺へ急行せる由は既報せる所なるが倘ほ聞く處に依れば右原版は一切經にあらず大藏經なり彼の海印寺に大藏經の古版を什藏するは韓廷に在りては古へより明白なる事にして歴朝にても時に勅を下して刷行せしめられし事なきにあらず近代にても現に大院君李星應に命じて其内の幾部分を刷行せしめ之を某寺に寄附したる例ありて決して世に隱れたるものに非ず昨年關野工學博士が南韓の建築物を視察したる序此の經版十五万七千枚の現存するを認めて之を報告書に記載したれば邦人に於いても既知の事柄なりとす此の如く日韓共に既に其所在の明白なれる次第なるを以て無論六石氏の新發見にあらず又碩學鴻儒が多年探討に腐心したるものにもあらざるべし此藏經は東京芝增上寺の國寶藏經の原版にして本邦には今一部洛東建仁寺に什藏したりしも何の頃に散佚したりけん零本となりて今一二帖づゝ諸家に什襲せられつゝあり元來此の經版は宋朝の一統せる時代の宋版に就て謄寫し上木したるものにて宋版亡びて後南宋に於て藏版を起す時には前の因緣を以て高麗より借用翻刻し此の翻刻版が後に日本に渡りて宋版として珍重せられしものなり今其版木を目睹せる人に聞くに板は悉く血樞にして四圍に銀金物を施しあり海印寺の宮殿の殿堂は藏版の爲に營めるものにて中央に佛殿を設け守僧常住看經護持し來れりといふ擢刷の勅旨を奉じたる時は衆僧所役に隨つて紙を製するもの版を刷るもの經を讀むものあり梵唄中に刷板するを例とする由須藤雨翠氏の如きは現に大院君の刷らしめたる經卷をも又邦人の書肆の竊かに刷行したる目錄をも一見したりと云へば以て其の新發見などいふものにあらざる事は明白なるべしと云ふ

三面電報

▲外國濱船の椿事 本日午前六時半一外國船神戸より大阪に航行中積載せるダイナマイト爆發し頗る慘状を極めたり(七日)

是れ果して何の兆ぞ

▽統監更迭紀念繪葉書

病氣だからとか無能だからだとかナアに何んでも餘り善い方の理由でなく屢々更迭を傳へられたる曾禰統監も桂總理の手嚴しき慫慂に接し最後の決心を持して花笑ひ鳥唄ふ相州は片瀬の春光を見すてゝ漢城の乙な春の眺めに親しむべく來る十日頭歸任の途に上らるゝ由は東京電報の齎らしたる所なるに之れは又氣が早いと云はうか無禮と云はふか遞信管理局にては既に早く統監更迭紀念繪葉書を作成したりと見ね南大門郵便局切手賣下口の窓口に麗々しくも貼り出して曰く『統監更迭紀念繪葉書』と曾禰統監には何日何人と更迭せられたるにやとの投書編輯局に舞ひ込みたるにぞ編輯局同人の驚きは又格別通信社やら其の向きへやら電話を掛けたり人を走らしたり百方事實の精査を遂げたる結果現統監の更迭なんどは夢にもなきことにして右は全く故伊公と現統監の其の際の掛け殘りの賣下げ札なるべしとのことなるが然るにても今日此の頃飛んだ人騷がせの張り紙なるかな嗚呼是れ果して何んの兆ぞと云はぬ云はるゝとなりかし鶴龜〳〵

草賊農民を装ふ

▽鄭敬奉以下十二三名

賊魁鄭敬奉は部下十二三名を引率し江原道の各郡を横行し良民を苦しめ居たるも近來官憲の討伐嚴重にして翅天潜地の術も無きより一計を案出し一隊は服装を變じて農民を粉ひ其筋の眼を晦まし相變らず掠奪を恣にし目下蔚珍平海、寧化の諸郡を往來せることを平海分遣所の探知する處となり嚴重に搜索中なれば不日掃討せらるべし

●走て温突に潜む 京城太平町一丁目七番戸料理店丸万事佐藤まき方の抱え酌婦太田とし(二五)は何か怪しからぬ病氣に罹り居れるが夫れと明かしては稼業が出來ず思案投首のだらしなき態を見て或者が斯うした病氣なら南山坡に別府温泉といふがあり其處に入湯してはと勸むるよりとしは然らばとて一日の暇を貰ひ七才計りの少女一人を附けられて入浴に出掛けしは去月三十日の事なるがとしは急に京城に歸へるが厭になり少女を温泉場に置去りにして行衛を晦ましたる爲め丸万の女將は金をかけた女に逃げられては大變と八方に手を分けて捜索する一方龍山警察へも此旨を具して捜索を願出で居しが去六日龍山署にてはとしが龍山舊町二十八番戸荻田孫左衛門方の温突に潛み居たるを取押へて抱主へ引渡されたり



浦尾きち女

浦尾旅館と云へば京城では最も古き宿屋の一である、客には親切だの叮嚀だのと好い噂を聞く。夫れも其の筈一寸浦尾が玄關を訪ふて御覽じろ何となく旅人の胸を和ぐる底の空氣が通ふて居る。何故かと問はれても一言には答へられぬ、唯何となく茲に座氣がするのである。去らばれきち媼さんは那麼女かといふと、若くして後家になり、京城に移り住むで、宿屋を開業して成功したさいふ其長の年月の間には、女の身の能くも彼の難關を切り拔けたものだと、大の男を感嘆せしめる丈の憂き苦勞を澁いで來たものゝさうな、中にもれ媼さんの弟が開鉱の人參に手を出して失敗した時なぞは、異常もうダメと思ふたといふことである、が氣丈のれ媼さん何うにか斯うにか泳ぎ出してからは一意專心宿屋の經營、賈業で親切な盛業振りが客の氣に入らぬ譯が無い、めき〳〵と伸びて今は京城の旅館中の老舗として、天眞樓や巴城館とは異つた側から見て京城第一流の旅館と呼ばれてゐる、客人の外泊するが嫌ひ、宿屋に藝妓を呼ぶのが嫌ひ、夫婦連のた客さんがあれば先様の氣象ねを酌むで痒い處に手が届く待遇ぶりは、苦勞人のれ媼さんにしては然うもあらう、女中、番頭に至る迄でれ媼さんの注意は頭の天邊から足の爪先まで泌み込むで居るらしい、今は昔京城の三夫人と稱せられたのが大數のまさ子れ媼さんに此の浦尾きち子れ媼さんと今一人あつたが名を忘れた、兎に角ねらいればんだ。

●大坂人親睦會 京城大坂人會にては四月九日午後一時より親睦を兼ね春季大會を和城臺公園に於て開催する筈なる若し當日雨天なるときは南山町松葉亭に變更すと會費は一圓にして當日持參のこと何は家族御同伴の向は同伴者に限り會費半額申入期日は八日午前中に左記幹事の内便宜の方へ申し込まれたしとなり

本町一丁目(電話一五三三)野和三郎
本町四丁目(電話一三九)木島平兵衛
櫻井町(電話三一四)石井新

●士民德に泣く 江原道伊川郡分遣所長高野永治氏は同分遣所開所以來同所に勤務し能く郡民に信義を施し法令の周知に勉め官民間の親睦を謀りたるを以て今回轉隊せんとするや老弱數百名泣て強て遁り留任を勸めたるも軍令の重きを說明して出發したれば同郡の地方委員一進會支長面長等人民を代表して憲兵分隊長へ宛て留任の請願を爲し來れり

●釋尊降誕會 昨紙所報の如く八日午後七時半より南山本願寺にて同會執行せられ在京城各宗寺院諸師出席讀經あり次に井波潜彰師の開會辭中學校長隈本有尚氏圓山大嶺師の佛教演說にて餘興には筑前琵琶の名手井上千代子孃の名手菜夫人の彈奏等あり倘婦人會員の甘茶接待ありて開會の相圖には烟火の打上をなすと云ふ

●コソ泥を逃す 一昨日午前四時頃仁川濱町四丁目通りを三十歳位の一韓人が亞鉛板を脊負ひながら足早やに通り過ぎんとするを折しも巡廻中の警官が呼止めて誰何したる上本署に引致せんとして濱町三丁目柴商店に他用にて同行中該韓人は巡査の隙を窺ひて何れ共なく逃亡せしかば目下所在捜査中也

●演藝だより 昨年以來韓國各地を經巡り居たる新派劇伊東文夫一座は安東縣へ乘り込み▲曾我の家の喜劇は平壤で大當りを取つて居る▲京城でドロンを極め込まんとして四苦尻つた佐々木一郎は群山に勢を揃へて居る▲龍山座には角村や泉や愛澤殘黨が立て籠り▲京城座には相變らず伊井や瀨川が奮鬪中▲五月初旬女小供中村時子一座が壽座へ來るとの噂がある、噂だからまだ判から丸が之れは慥かに群鷄の一鶴だ、座の揃つて居る事衣裳の宜き事太夫元のシッカリして居る事朝鮮には未だ無い或は福圓以上に面白いかも知れぬ▲島津れ政や雲井消等も來ると云ふ噂があるが之れも判然とはせぬ▲昨年當地に來り大に愛嬌を振り蒔いた三遊亭遊七は今度圓都と改め江戸娘のチヤキ〳〵而かも若手揃の藝達者五六名の同派を語らい決死隊とか云ふ恐ろしい團體を組織して近々渡韓するそうだ

●諸國盆踊唱歌評(九)

▽河内の部

▽音流行の唱歌でムる

▽花も實もある優しさ

「親が片親ごさらぬゆゑに人もあなづりや身も痩る」

敎士『同情を引く歌です、あなづりや、は侮り輕んずるの意味ですな此の歌を若し東京で唄ふとすれば下の七字をいゝいゝ身もひけると云ふ可きでわらふか

李『本當だアよ眞實だアよ俺なぞは身につまされて涙が出るだアよ恥を云はにやア理が徹らぬ一通り聞いてくらつしやい……

頭取『身の上話しは又の日長に願ひましてれ次を

『さまとわしとは山吹そだち花は咲けども身はのらぬ』

敎士『秀逸と認めます

藤『反對します歌其のものに障りはないが此の種の歌は類句が多い

頭口『類句が多いからとて反對するには反對する併し秀逸ではない

通『でげす拙も同感

頭取『さらば否決されましたかな

目と耳

▲京城座 八日第二十回目替り狂言は『後の不如歸』にして重なる配役左の如し 支那人ボーイ、車夫吉巳(川﨑) 妙子(金澤)園部つゆ子(桂木)番頭與七、岩吉妻との(田中)園部定信(高山) 伊世原甚兵衛(高島)車夫辰、ボーイ山川(潮)鶴岡又四郎、川島武夫(浮田)伊世原岩吉(異部)三浦仙之助、番頭運吉(秋岡)園部まや子(三好)園部準一(瀨川)

●八日の日韓禪寺 花園町曹洞宗日韓禪寺にては同日午前八時より釋尊降誕會執行に付一般參詣人に甘茶の接待をなし午後一時より說教、禪學講話等ありと云ふ

疑床と元町の岡野床とは龍山勉強の一對▲元町の佐藤病院は患者に心切です(官舍の人)▲不俗儀猶腕にて恐れ入りますが志願の上兵役を了し洋刀の長として數年間買陸探偵に從事して居ますがが花の色香で兎の字を頂き渡韓後思案に迷ひ中です何所かに途は有りませんか無手數ながら本欄にて同情を願ひたい(迷士)▲京城の小料理屋には譬なぞ稼で取ることが出來ないのが多數です不景氣ですから夫れは求だよろしとして朝市に魚の買ひ出しに行く資本もない輩のが澤山あります(通人)▲龍山新市街一新では酌婦が二人逃亡して三百圓計り貸金があつて閉口して居る隱れ場所は京城で尻押は某社の記者さんだとの評判なり(山口生)▲仁川八阪樓のれかよさん銘仙の羽織を有難ふ御座います品物はたとへ銘仙でも貴女の身分ちや仲々のれ骨折りだらうと私は其の御親切にれ禮を云ひます(英次郎)▲ホイ花月の房江が居ないで仕合せ(小僧)▲西小門通りに清國人の屠牛場がある其所へ朝鮮人が一頭の孕み牛を賣りに來て居たが殺すまで待てば賽いに繁殖のために云ふ(見太三)



今日の運勢

四月八日舊二月廿八日七赤大安 癸卯閉△一白●相生の日なるも兎角妨害多き日なり新事及び變更の事凶旅行婚姻蓄業には吉△二黒●盛運なり大抵吉家庭内に些少の煩累あらんとす△三碧●顛顛轉倒に了り易し新事及び變更の事凶取引賣買貸借注意すべし△四綠●盜難遺失防ぐべし離じて厄運の日なり注意すべし婚姻共同組合運盟には吉△五黃●貸借保證事損害起り易し其他平靜△六白●家庭内交際上に紛爭衝突起らんとす商賣には收利の日なるも他は否らず△七赤●不締約に凶△八白●人の爲め損害受け易し通塞の日なり新事及び取引訴訟事△九紫●其他靜事の日なり△九紫●邪異に歸し易し新事及び婚姻養子の談凶爭論色情の難を愼しむべし(三二館判斷)

廣告

購買入札公告
一、編鐵外十七點
右購買す入札希望者は四月七日以後の官報を見るべし
隆煕四年四月七日
内部土木局

謝近火御見舞
荒井牧場
高山孝行
四月六日

美術羊襟帶綿其他紙類各種

京城明治町一丁 電話二千四百〇九

ゑり德商店

廣告

民事刑事其他事件の鑑定債權取立契約書案訴訟會社定欵の作成

右迅速確實に依頼者の滿足を旨とし事務取扱候間事件の大小を問はず御來談あれ

京城裁判所前

倉澤法律事務所

營業品目

三味線、尺八、鐵琴、横笛、明笛、月琴、清笛

三味線張替修繕並に小道具類は特に大勉強

本町三丁目(舊郵便局前) 本町五丁目(西ポスト前)

米川三味線店

日本の二大賣藥

全國各藥店にあり



◉三輪井上兩博士方劑

懷中良藥 仁丹

消化と毒消し

◉醫學士七名合同處方

毒掃丸

代理店

京城南大門通三丁目

新井藥房

電話九百四番 振替口座韓國千六十八番

京城鐘路の喰物は何んたろー!

裁判所前の洋食店 鐘路軒の

松茸めしさ

酒一本 外和洋料理五品付

一人前六十錢

又和洋料理和洋食共辨當の注文するとすぐ

値が安くてうまくてはらにたまるよ
皆さん一度たべてごらんなさい
いつでも持つてくる極く便利ですよ

電話壹四二九番 客用有ます

◉監獄辨當の差入も引受ます◉

胃腸新藥

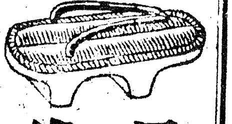
ジカヂアスターゼ

韓國總代理店

仁川本町二丁目 電話八五〇番

竹田津三平

東京



足袋

正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

本店東京

京城大和町一丁目(日の出橋際)

大和屋

藤井出張店

電話二百〇五番

明治町勸商場内ニモ出張店アリ

廣告

各位益々御清穆奉賀候陳者弊店江湖諸彦の御引立を蒙り御陰を以て日に月に隆盛に赴き候段深く奉感謝候何卒今後とも倍舊の御愛顧奉希上候

就ては來る四月六日は當店開業渡韓十五周年に相當し六月十一日は恰も當京城へ入京の當日に有之候間聊か自祝を兼ね記念の爲め右期間内左の方法に依り抽籤を以て景品付大賣出し可致候に付何卒賑々敷御來店の程を賜り度此段奉希上候

一、景品總金額二千圓

一、景品券は御買上金額二圓毎に一枚を呈す

一、景品券進呈期間は四月六日より六月十一日迄とす

一、抽籤は六月十二日正午各新聞記者並に御得意樣三名の御立會を乞ひ日本人商業會議所樓上に於て施行す

一、景品券引換期間は六月十三日より同三十日正午迄弊店に於て引換可致候以後は無効とす

一等 白米(五斗入)五十俵 三百圓

二等 十八金金側時計一個 百三十圓

三等 竹内鋼鐵六號金庫一個 百十圓

四等 純金四匁指環一個 二十八圓

五等 朱珍丸帶一本 五十圓

六等より九等迄 總桐東京箪笥 各一個 三十圓

十等、廿等、卅等、四十等、五十等、六十等、七十等、八十等、九十等、百等 竹内鋼鐵八號金庫 各一個 五十五圓

十一等より十四等迄 十四金女持金側時計 各一個 五十圓

十五等 上等御召 各一反

三十一等より三十五等、三十六等より五十五等、五十六等より七十五等、七十六等より九十五等 各十八圓

十一等より四十九等迄(各一個乃至各一本)

十一等より十四等まで 各一個 擣掛 十二圓
十六等より十九等まで 本セル 各一反 見八圓
二十一等より二十四等まで 各一個 六圓
二十六等より二十九等まで 白米(五斗入) 各一俵 六圓
三十一等より三十四等まで 絹張洋傘 各一本 五圓
三十六等より三十九等まで 手提金庫 各一個 四圓
四十一等より四十四等まで 蓄音器(アオロン) 各一個 三圓五十錢
四十六等より四十九等まで 掛時計 各一個 三圓
以下空籤なし

五十一等より五十四等まで 手提金庫 各一個 二圓
五十六等より五十九等まで
六十一等より六十四等まで 鏡臺 各一個 二圓
六十六等より六十九等まで
七十一等より七十四等まで 水差 各一個 一圓八十錢
七十六等より七十九等まで
八十一等より八十四等まで 南部胴子五德 各一個 一圓四十錢
八十六等より八十九等まで
九十一等より九十四等まで 釣鏡 各一個 一圓
九十六等より九十九等まで
百一等より二百等まで 桐箱入紀念盃 各一組

和洋金物商

京城本町五丁目

藤本藤次郎本店

電話四十五番 振替貯金口座韓國二五六番

紙と印刷

諸官衙御用

諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本

播本商店

京城本町六丁目 電話百拾番

廣告

弊會社儀開業以來幸に大方諸彦の御贊顧に依り瓦斯引用御申込日に月に增加するの盛況に有之候に付ては此際益々御便利を圖ると同時に瓦斯普及の目的を達せんが爲め左の通り改正致候間何卒倍舊御需用被成下度此段奉願上候也

一、引込料は長距離に亘らざる以上は一般無料と致候

二、屋内管工費は從來一孔口に付金三圓なりしを改めて金壹圓五錢と致候

三、器具類は今回最新最便なるものを仕入れ其定價も從來よりは一二三割方安價にて御需用に應じ候特に熱用に對しては御便利を計り可申候

四、瓦斯原料の石炭は今回試驗の上最良のものを購入し臭氣は少しも無之樣取計申候

五、近日中に南大門外蓬萊町龍山等に器具販賣及引用申込の取次所を新設し大方の御便利相計り可申候

六、此頃弊會社に御相談なく上向「ランプ」御使用の向も有之哉に聞及候右は一應弊會社に御通知置被下度候

七、漏洩其他故障有之候場合には直に泥峴陳列所又は龍山出張所へ御申出被下度候

八、販賣修理及檢査の爲め巡回員を差出候筋は細大となく御申附被下度候

明治四十三年四月

鐘路 日韓瓦斯電氣株式會社

東京火災運送海上保險株式會社

明治廿年七月創立 資本金一千萬圓

京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九番

事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

名物 松たけめし 一人前三十錢
あなご 竹の子めし たなしく
鶏 ゑんどうめし たなじく

豫てたなじみの大阪美人、御光來の程を待ちかねて居りますから、御賞味を賜はりたう、尚ほ多少によらず出前も仕ります、呉々も御用命伏して御願申上げます

大和町三丁目 梅の家眞向ひ 電話七三五番

明月

辯護士 特許辯理士

京城明治町二丁目(佛國教會前)

岩田仙宗

電話三五四番

移轉廣告

今般擴張の爲め左の處に移轉尚一層大勉强致候間多少に不拘御用仰付被下度願上候

龍山榮町元井筒跡

履物商遠山商店

營業科目

和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋畫材 防腐ヂシン 穀物食鹽 諸染料類

陸軍衙御用品調達

委託販賣

東京ランバード商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
大阪臺灣鹽合資會社食鹽特約

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)

出張所 東京南鍋町一丁目 京橋新橋三六九 東京地電十番二

御紋上繪、染物、洗張、西洋洗濯

ものし、しみぬき、かけつぎ

京染悉皆取扱

葉書にて御一報被下候へば早速店員參上仕り何々御便宜に御取扱可申候

京城古市町

京屋

主任 島田嘉吉

春着用本場秩父縞新柄各種着荷

京城明治町一丁目

秩父屋

關根出張店

(電話四三番)

生徒募集

和洋裁縫、造花、盆石、茶の湯、生花、御料理、即席及普通教授

右親切叮嚀を旨とし教授致候御出稽成兼候方は出教授仕候

寄宿舍の設備も有之又造花材料も備置申候

龍山老松町六十七番戸 龍山番通取次電話二一九番

佐藤セキ

五島チカ

京城南山町(元日本人倶樂部)

京城ホテル

長電話一二三番 電話四九二番

大上商店

特約販賣

味噌醬油製造元 漬物問屋

京城本町五丁目

自製和洋酒、醬酢、穀物麵類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、鰹節、塩辛、日本食器類各種特約販賣

御注文に依り商品切手調進仕候

(電話二五一番)

京城大和町三丁目

[illegible]牧場

株式會社百三十銀行韓國支店

京城本町二丁目十五番地 電話五十八番

資本金壹百萬圓

頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市

東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪

東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七崎、高崎

北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、高山、伏木、新潟

山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田

山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、徳山、小郡、長府、網干

南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、徳島、普通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱

西海道 東方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、伊萬里、唐津、佐伯、別府、大分、佐世保、牛深、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲

北海道 函館、小樽、札幌

台灣 臺北、臺南

清韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、向州、馬山

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

純良牛乳

滋養と牛乳

衛生と消毒

京城東四軒町

岡野牧場

電話壹〇六九番

馬車配達

株式會社十八銀行京城支店

資本金參百萬圓 積立及繰越金九拾五萬圓

京城南大門通(電話四二〇)

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

本店 長崎市築町

支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山

出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

韓國 日本

其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日步壹錢二厘)

長崎貯蓄銀行代理店(十八銀行京城支店)